

園やご家庭での読み聞かせにお役立てください。



へんしん!
めいさくポスター

10月の
おはなし

ありと きりぎりす

夏のある日、ありたちは、せつと家に食べ物を運んでいました。一方、きりぎりすは、のんびりとバイオリンを弾いています。

きりぎりすは言いました。

「ありさんたち、なんでそんなに一生懸命働いているんだい？一緒に遊ぼうよ。」

ありたちは、

「今のうちに準備しておかないと、冬には食べ物がなくなってしまうって、後で困るのですよ。」

と言って、断りました。

きりぎりすは、

「あははは。」

そんなこと、冬になってからまた考えればいいのさ。」

そう言って、夏の間、ずっと遊んで過ごしました。

その間も、ありたちは毎日忙しそうに働いていました。

そうしているうちに秋が過ぎ、雪の降る寒い冬がやって来ました。ありたちは暖かい家の中で、夏の間に貯めた食べ物で、楽しく冬を過ごしていると…。

ドアをノックする音が聞こえてきました。

ドアを開けると、そこには、ふらふらのきりぎりすが立っていました。

「寒いし、おなかがいっぱい…。食べ物を分けてくれないかな？」

ありは、

「きりぎりすさんは、毎日遊んで暮らしていたものね。仕方がないですねえ。」

そう言って、食べ物を少しだけ分けてくれました。

きりぎりすは、

「ありさん、ありがとう！これからはちゃんと働くよ。」

(おしまい)